

人間とロボットのインターフェースの開発

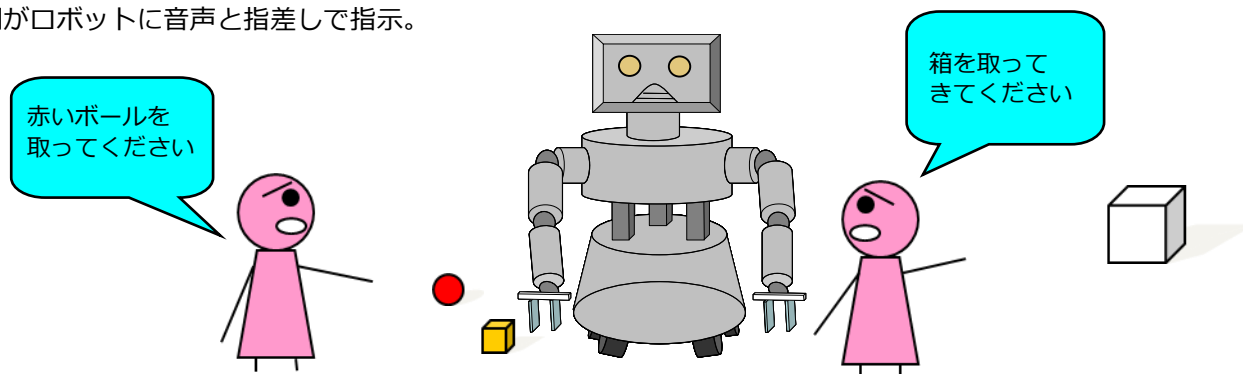
工学部 電子情報工学科 教授 **荒牧 重登**

分野 情報・通信

キーワード 人間、人間型ロボット、知識表現、インターフェース

○ 研究シーズ概要

人間がロボットに音声と指差しで指示。



○ 研究シーズの特徴、効果、独創的な点

- 人間が持つ知識をロボットが持つ（知識表現法の開発）
- ロボットの動作中エラーが発生しても回復できる（エラーリカバリ機能）

○ 本研究シーズの適用分野、用途

- 一般のオフィス、病院、介護施設、家庭内、工場で動くロボットへの応用

○ 論文、知的財産情報等

関連論文等：3編